



みさきっ子

第29号
喜屋武小学校学校新聞
発行者：校長伊川治美

NTT主催「母の日」図画・作文

おめでとう！多数入賞

NTT西日本主催第53回母の日の図画作文コンクールに本校から多くの児童が入賞しました。本コンクールは、県内の小中学校、特別支援学校から図画の部に1万8417点、作文の部に488点の計1万8905点の応募が有り、本校からは、審査会の結果、入選32名、佳作6名が入賞しました。おめでとうございます。入賞者は以下の通りです。



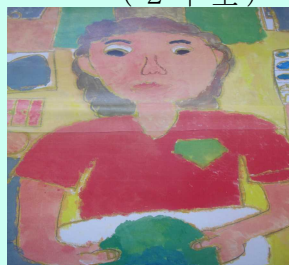
図画の部<佳作> 6名 ()は学年
こうちりみ (2) みやぎゆりな (2)
横井柊羽 (3) 宮西来実 (3)
新田海空 (4) 千葉悠平 (6)



こうちりみさん
(2年生)

図画の部<入選> 26名

ちばゆいと (1) たかえすひろむ (1)
とくむらやすなり (1) やましりんか (1)
えいもりかいむ (1) なかにしみはる (2)
みやにしりき (2) こほりばたきのと (2)
なかじょうりょう (2) しもちひろ (2)
大小堀 柚希 (3) 大保舞紗 (3)
松田 紬子 杷 (4) 伊禮心音 (4)
新田 星空 (4) 波平葉月 (4)
新里 察得 (5) 志茂 佑 (6)
仲西 史也 (6) 千葉涼平 (6)
新田 清崇 (6) 徳嶺 亜佑夢 (6)
玉井 俊輔 (6) 伊禮 樹音 (6)
志茂 恋桜 (6) 稲嶺 綾也 (6)



宮西来実さん
(3年生)



横井柊羽さん
(3年生)

作文の部<入選> 6名

屋 宜美羽 (4) 玉井 葵 (4)
新垣 滢 (6) 千葉涼平 (6)
波平 双葉 (6) 伊禮 樹音 (6)

以上作文の部
なお、全体集会の場で表彰を行います。

描くことや物を作ることは、創造性を豊かにし感性が育ちます。これからも図画工作の時間にたくさん描いたり、作ったりしてください。また、文章を書くことも大切です。自分の考えや思いをまとめ発表できるようにしましょう。

PTA合同専門部会

一年間の各部計画発表

本校PTA合同専門部会が5月8日(金)午後7時より本校視聴覚室でありました。当日は多くの会員が集まり、各部専門部の年間の計画を検討し発表しました。本年度の主な事業計画は次の通りです。

<総務部>

- ・PTA総会・職員歓送迎会・校内童話お話大会
- ・PTA作業、各PTA研究大会への参加等

<生活指導部>

- ・朝のあいさつ、交通安全指導・交通安全標語募集・立て看板づくり・下校パトロール・夜間街頭指導等。

<保健体育部>

- ・校内親睦スポーツ大会企画・運営
- ・運動会に向けた踊り練習・運動会前日準備
- ・地区陸上への協力

<広報部>

- ・PTA新聞「みさき」3回発行・行事取材

<環境整備部>

- ・PTA親子作業(学期1回)

<文化教養部>

- ・ハリーの世話・校内童話お話大会の進行・審査



授業参観・学級保護者会 8割の保護者が参加



授業参観と学級保護者会が、5月13日(水)に行われ普段の日にも関わらず80%名以上の保護者の皆様が参加しました。授業参観では、真剣な面持ちで授業に臨む児童の皆さんのようすをご覧頂きました。親が来ているかを気にしながら……。親が参観して頂くとみんな良い笑顔になりました。また、参観後は、各学年の保護者会が行われ、学級のようすについて情報交換や意見交換を行い、充実したものとなりました。

5年生は、離島体験(6月10日~12日)の説明会もありました。

今回の授業参観へ8割以上の保護者の皆様が参加なされたことは、とても素晴らしいことです。本校は、いつでも子どもたちの成長について気軽に話合いができる環境づくりに努めます。今回の授業参加・保護者会お疲れ様でした。次回は6月14日となります。

5 / 24 PTA 親子作業 お知らせ

PTA環境整備部主催の「PTA親子作業」が5月24日(日)午前9時~11時30分まで実施されます。

清掃内容は、運動場、正門、幼稚園跡地、プール周辺の草刈り作業となります。また、プールの支柱のペンキ塗りも計画しております。貴重な時間ではありますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、できるだけ草刈り機、カマ等をご持参いただければ幸いです。



<職員> AEDの使い方講習

本校職員による「救命講習会」が5月18日(月)糸満消防署の金城、大城さんを講師に招き実施されました。学校の事故発生に迅速・適切な救急処置ができるようAEDを用いた心肺蘇生法を始め、怪我等の緊急時の対応について学びました。

人権朝会

クラスで考えました!

本校では、毎月「人権の日」を設定し、各クラスで「人権について」考える機会を設けています。今回の人権朝会は、各クラスで「人権目標について」話し合い、まとめ発表しました。以下各学年の発表内容です。

<1年生>

○けんかをしないで なかよくあそびます。○なまえをよんであいさつします。○ここから 「ありがとう」をいいます。

<2年生>

○じぶんからすすんで こうどうします。○わるいけんかをしません。○ゆずり合いをします。

<3年生>

○やさしい言葉がけ ○なかよくしていく(仲間はずれしない)
○しっばいをゆるす○ゆずり合う○ルールをまもる

<4年生>

○みんな仲良く ふわふわ言葉を使う ○人の気持ちを考え 相手を傷つける言葉を言わない ○ルールを守り 仲間はずれをしない
○物を大切にす

<5年生>

○自分にいやな事は人にしない。○相手のことを考える。
○ちくちく言葉は使わない。○人には「さん」を付ける。

<6年生>

○人のことを考えて 思いやりのあるクラス ○人がいい気持ちになるような言葉を使い 人を怒らせることをしない

みんなで決めた人権目標を守り、楽しい学校生活、思いやりのころを持ってください。

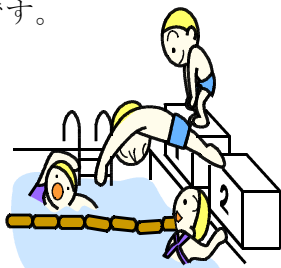
プール開き

5月25日(月)~7月3日(月)

夏本番を迎える季節。本校では5月25日(月)にプール開きが行われ7月3日(月)までの期間実施されます。夏の水泳は児童にとって楽しいもの期待をふくらませながら、先日3年生以上の児童がプール清掃をしました。どの児童もブラシを片手にゴシゴシ磨き、全員でかけ声をあげながらきれいにプールの中を仕上げました。後はその準備と体調管理が必要です。

本校は安全を第一義に点検活動を重視し、監視人を一人付け安全確保に努めます。

担当者から5月18日付け「水泳学習についての文書」を配布しております。ご家族で確認し準備等をお願いいたします。



保健室より「アタマジラミ」に気をつけよう

<保健室より>頭髪がかゆくなっている場合は、アタマジラミが感染していることもあります。ご家庭でもお子さんの頭髪を調べて頂きたいと思ひます。詳しくは、保健室から出された文書をご覧ください。

6月の日曜授業参観のお知らせ

6月の日曜授業参観は、「平和集会」メインに授業参観及び親睦スポーツ大会を実施する予定です。日程につきましては、次の通りです。多くの保護者の皆様のご参加をお待ちしています。

1 日時：6月14日(日)

2 日程：8：40～9：25 1校時授業参観
9：35～11：25 平和集会
午後からは、親睦スポーツ大会です。

子どもが育つ魔法の言葉より

ドロシー・ロー・ノルト レイチャル・ハリス著

「家庭内のいじめ」

わたしたち親自身が、子どもを馬鹿にしたり、からかったりしてしまうこともあります。親御さんによっては、それで我が子が鍛えられると思っているのかも知れませんが、しかし、言うまでもなく、本当の強さは、人から馬鹿にされたから、からかわれたりして育つものではありません。保身に回るといふよくない処世が身につけてしまうだけです。これは、本当の強さではありません。

ビートのお父さんは、若いころはサッカーの花形選手でした。12歳になる息子のビートは、今、地域のサッカーチームでトーナメントを目指して猛練習中です。お父さんは、ビートはもっと積極的に攻めるべきだと不満に思っています。それで、練習中のビートに、がらがら野次を飛ばします。けれど、それはビートにとっては、みんなの前で恥をかかされているだけのことだったのです。「なにをやったんだ! ボケッつつ立ってんじゃない。どこ見てんだよ。ボールを追え、ボールを!」

サイドラインからお父さんは野次りました。ビートは頷(うなず)き、歯を食いしばって走り出します。でも、頭にきて、もう集中できません。

お父さんはよかれと欲していることなのでしょう。息子のプライドを傷つけるひどい野次を飛ばしているなんて思っていないはずです。あるいは、自分が昔言われたことを言っているだけなのかもしれません。けれども、これは、ビートのためにもお父さんのためにもなりません。

<家庭が安らぎの場になっているか>

どんな子どもも、いじめやからかいの対象になる可能性はあります。親がいつも守ってはできません。けれど、家族がくつろぎの場であり、心からほっとできる場所であれば、子どもはそれだけで救われます。そして、親自身が、人の弱さや欠点を受け入れられる心の広い人であれば、家庭は、子どもが心から安らげる暖かい場所になることなのでしょう。たとえ失敗しても許してもらえるのだという安心感があれば、子どもの心は明るくなります。

わたしたち大人も失敗だらけで、時には自分で自分を笑うこともあるでしょう。人を笑うのではなく、自分で自分の失敗を笑い飛ばせる家族、そしてそれを許せる家族。そんな家族であれば、子どもは本当の強さを身につけてゆくはずで。

次回は

「親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる。」

